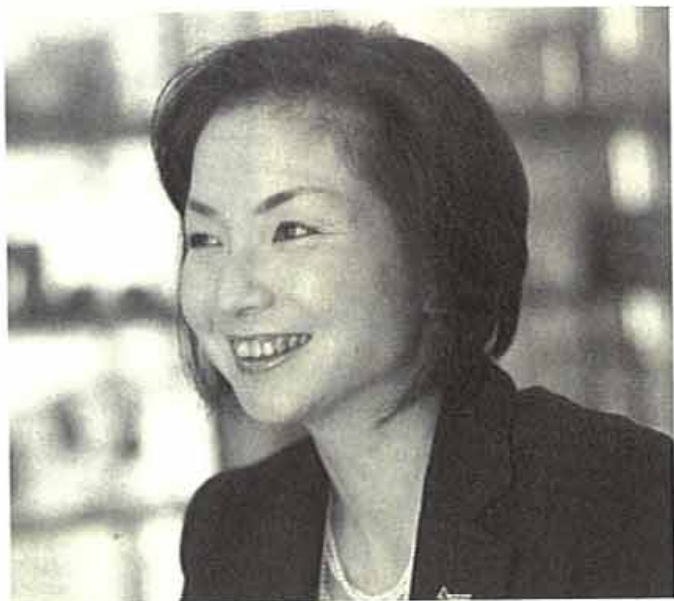


子どもと遊ぶ出勤前のひとときを大切にし、  
ママの幸せこそ、子どももの幸せと信じ  
「幸せ」サポートビジネスに全力投球

### 「私らしい結婚式」の ニーズに応えたい

一九九八年に、香川県では初めてのウエディングプロデュース専門会社「フェアリー・テイル」を立ち上げました。その前年に挙げた私自身の結婚式で、売り手主導の業界体質に疑問や問題意識を感じたことがきっかけです。自分らしい式にしたいと思って相談してみても、「皆さん、こうしていらっしゃいます」の一言で片付けられてしまう。リピーターがいる商売じゃないので、工夫もサービス精神もないんですね。それで私は、知人のグラフィックデザイナーに招待状をデザインしてもらい、カメラマンに撮影をお願いして、自分でデザインしたウエディングケーキを作ってもらい、何もかも自分で準備しました。もちろん、トータルのプロデュース、



ブライダル業界の体質に疑問や問題意識を感じたことがきっかけとなり起業へ



ディレクションは私自身です。今で言う、オリジナルウエディングですけれど、出席者の方たちからは、「心があるお式だったね」と喜んでいただけました。  
大学を卒業後、広告代理店に勤めていたので、アイデアを考えたりすることは得意。そもそも私はおせっかいやきなの  
で、友人の結婚式では受付や司会を手伝ったりしていました。  
そんな中、ありきたりの結婚式ではなくて自分たちだけの  
プランを求めている人は多い一方で、業界がそれに対応して  
いないことがはつきりとわかりました。周りの人から「いつ  
そのこと仕事にしたら」といわれ、ブライダル業界の仕組み  
を知り、手ごたえを感じて、結婚から一年後には起業してい  
ました。今でこそ、自分らしい結婚式や披露宴は当たり前  
のようにになりましたが、創業当時は、「お客様を送客したいの  
で取引させてください」とホテルやレストランなどに交渉に  
行っても、「あなたのような若いお嬢さんが何を言っている  
の」とか、「業界には掟があって素人のあなたに何がわかるの」